

■ 2020年3月期 第1四半期決算説明会 質疑応答の要約

ユナイテッド株式会社

2019年8月1日(木)開催の証券アナリスト・機関投資家向け決算説明会において、出席者の皆様からいただいた主なご質問と当社の回答を以下にまとめております。

質問	回答
コンテンツ事業について	
Q1 前第3四半期をピークにやや売上高が減っているが季節性の影響なのか、また今期上半期まで先行投資を継続して選択と集中を加速すると記載があるが、下半期以降の売上高の成長見通しを教えてください。	当セグメントは複数のグループ会社で構成されているが、前第3四半期以降の売上高減少の最大の要因は、グループ会社1社の下期偏重の売上高季節性によるものであり、今期もその傾向は続く見込み。また、その他の要因として、既存事業のビジネスモデルの転換を図っているグループ会社の売上高が、市場トレンドの影響を受けて減少したことも一因である。 今期上半期中は先行投資を継続するという点については、前期から複数の新規事業を立ち上げて検証を行ってきた結果、一定の手応えが出始めている事業もあり、これらに集中的に経営資源を投下することで下半期以降の成長につなげていきたい。
Q2 成長を期待しているキラメックス、フォッグの売上高のトレンドを教えてください。	キラメックスは、主に個人向けプログラミング教育事業、法人向けIT研修事業を行っている。両事業ともに前期から成長を続けており、今後も順調に推移する見込みである。 フォッグは、主力サービスである「CHEERZ」を中心に周辺領域で複数事業を立ち上げており、これらによる売上高の拡大を計画している。

以上